区政を聞く　一般質問（要旨）

詳しい内容は、会議録（11月下旬発行予定）をご覧ください。会議録は、区議会公式サイトや区政情報コーナー（区役所３階）、図書館などでご覧になれます。

歩育

問　新学習指導要領に歩行に関する指導が加わり、都教育委員会が小中高生の目標を設定したが、乳幼児期からの取り組みが重要であると考える。区の見解を伺う。

答　子どもの体力向上には乳幼児期からの体を動かす遊びと保護者の意識啓発が重要と考える。今後も研究を進め、区立幼稚園での実践事例を保育園などの担当部署へ情報提供するとともに、保護者の意識啓発を行う。

※他の質問項目　区の実態に即した目標設定の検討　など

区民が区長と直接対話のできる意見交換会の継続を

葛飾区総合庁舎

問　東日本大震災の影響を受け、今後10年程度を目途とした総合庁舎の建替え計画のスピードを早めていく必要があると思うが、建替え候補地の選定などの進捗状況を伺う。

答　あり方検討委員会の素案は、現庁舎敷地での建替え、青戸平和公園への移転、立石駅北口再開発地区への移転の3つを候補地とする。今後、各候補地の課題を整理し検討を進める。

※他の質問項目　候補地周辺の住民への周知　など

子育てを地域で見守る応援施策

問　保育園の運営者側と意見交換を図り保育の実情を知ることにより課題も明確になると思うがどうか。

答　現在も区長が私立保育園へ訪問するなど現場視察や要望に適宜適切に取り組んでいる。意見交換や現場での交流の重要性は認識しており、課題解決のため今後も協働して取り組む。

※他の質問項目　保育に関するきめ細かな支援　など

区民と区長との意見交換会

問　今後も区長との直接対話ができる取り組みの継続を望むが、意見交換会での区民の声をどのように施策に反映させていくのか、伺う。

区民と区長との意見交換会

答　すぐに実行や解決のできない意見や要望もあるが、例えば観光案内標識の設置や地域猫の虐待防止PRなどについて迅速に対応した。今後も対応できるものは速やかに対応する。

※他の質問項目　区民の反応　など

青砥駅前駐輪場対策と駅周辺の景観美化

問　青砥駅周辺自転車対策を第1回定例会において質問したが、それ以降の放置自転車対策の成果を伺う。

答　午後6時まで指導・誘導及び撤去業務を延長し、大型商業施設の南側道路でも指導・誘導業務を行うなどの強化を図り、昨年に比べて放置自転車が約4割減少する効果があった。

※他の質問項目　青砥駅前広場の景観美化対策　など

地域政党葛飾

行財政運営と新基本計画の策定

行財政運営

問　東日本大震災や世界的な金融不安などが法人住民税にどの程度の影響を与え、今年度の財政調整交付金再算定にどのような影響を与えるのか。

答　輸出関連の製造業を中心に今後の企業収益の行方は不透明な状況となっている。法人関係税を原資とする財政調整交付金の動向も危惧されており、注視していく必要がある。

問　仮に再算定によって財政調整交付金が減額された場合、今年度の区政運営に影響が出ると考えているのか。

答　少なからず今後の本区の財政運営に影響が出ることが考えられる。仮に減額される規模が大幅になったとしても、今まで積み立ててきた基金や起債発行抑制などの財政対応能力や昨年度からの繰越金などを活用し、今年度の区政運営を進めていく。

問　今年度予定をしていなかった災害対策などの不測の支出はどのように賄うのか。全額でどの程度の金額になるのか。また、その財源はどの施策を削ってまわすのか。

答　東日本大震災や福島第一原発事故による放射能の影響で当初予測していなかった災害対策経費は1億4千万円ほどになる。財源は、補正予算、または予備費や契約差金等で対応することとし、原則として当初予定していた施策を削って財源を捻出することは考えていない。なお、被災地県からの要請による救援があったものは、災害救助法に基づき財源措置がなされることとなっており、それ以外は、財政調整交付金の特別交付金を申請し、都と協議していく。

※他の質問項目　今後の災害対策　など

基本計画の策定方法

問　新たな基本計画策定の前に、基本構想を青木克徳区長オリジナルとして作り変えるべきと思うがどうか。

計画的な街づくり（水戸街道）

答　基本構想は、長期的な視点に立った行政運営の指針として策定されており、現在も大きな齟齬は生じていない。新基本計画は、基本構想で示された区の将来像や基本目標などを土台とした上で、夢と誇りあるふるさと葛飾の実現を目指す私の姿勢や考え方を明確にし、現在の課題や今後見込まれる課題へ的確に対応する計画として策定することで、オリジナリティのあるものとしていく。

問　これまでの基本計画の策定方法と次期基本計画策定方法の大きな違いは何か。また、策定方法に新たな工夫を考えているのか。

答　学識経験者や公募区民等で構成する基本計画策定検討会議を設置するほか、区民のご意見を伺う会の開催、パブリックコメントの実施など、区民の声をお聴きする機会を設けていく。区民の方にご参加いただき、実質的な議論をしていただくことで、区民の実態に即した、区民にわかりやすい計画を策定していく。

※他の質問項目　議会の意思の反映の仕方　など

財政計画や行政改革

問　これまでの基本計画における財政計画及び行政改革の位置付けについて伺う。

答　財政計画は、基本計画を具現化する実施計画の実効性を確保するため、諸情勢を勘案し、推計するものであり、行政改革は、経営戦略を具体化し、基本計画を財政基盤から支えていくためのものである。

問　財政計画及び行政改革の進捗管理を計画の進捗と一体のものとして行うべきだと思うがどうか。

答　基本計画を着実に実施するとともに、将来の様々な行政需要に的確に応えていくためには、PDCAサイクルにおけるチェックとアクションの部分である事務事業の評価と見直し、プランの部分である重点事業の決定と予算編成といった一連の流れの中で、適切な進捗管理を行っていく。

問　新たな基本計画にあわせ策定を考えている行革大綱に代わるものについて伺う。

答　新たな行革に係る指針の策定は、現在の葛飾区経営改革大綱を総括し、現状をしっかり把握することが重要である。自立した基礎自治体として、堅実な行財政基盤を確立するため、適切な定員管理や民間委託の推進等の視点に基づく行革に係る総合的な指針を策定していく。

※他の質問項目　改革パワーアッププラン

無所属（※２）

南北鉄道の実現と中高一貫校開校の抵抗勢力

新金貨物線旅客化事業費の試算と長期構想路線決定の経緯

問　平成18年に試算された旅客化事業費58億円について、区議会に何ら説明なくその後の委員会においても庶務報告がされなかったのはなぜか。

答　国道6号線の立体化を前提としない概算数字であり、実現可能な案に基づくものではないということからお示ししなかった。

新金貨物線を走る旅客列車

問　旅客化事業費58億円の試算内容と長期構想路線の定義、決定の時期、またその会議名について伺う。

答　国道6号線の平面交差化を前提にした概算で、用地費・補償費で8億円、駅舎などの工事費44億円、車両費6億円。実現には課題が多く、解決に時間と経費が必要なことから、長期構想路線として周辺環境の変化を見守り、バス路線の充実など代替案の検討も進めるとした。平成18年6月に関係機関と新金貨物線意見交換会を行い、その上で区が決定したもので、会議を開催して決定したものではない。

区立小中学校の学力向上策など

問　東京都の学力調査に続き、区の学力調査でも悪い結果が出た。教育長の見解と具体的な学力向上策を伺う。

答　本区の調査によって問題が把握されたので、各学校が作成した授業改善推進プランを推進していくことが大切である。また、学力向上の担い手である教員育成の新たな取り組みを実施するため、塾の講師やノウハウを活用する方策も検討している。さらに、自学自習ができる独自教材を開発し、基礎学力の向上や家庭での学習習慣を身につけられるようにするなど、様々なきめ細かい取り組みを推進していく。

問　東京都教育委員会の協力を得て区立の中高一貫校の開校と新基本計画での位置づけを伺う。

答　教職員の人件費や高等学校施設に係る財産取得費などの財政負担や、教員の人事面の問題など課題が多い。区は教育振興ビジョン（第2次）に沿って、現在取り組んでいる小中一貫教育を当面推進し、併せて区立中学と都立高校の連携を引き続き進めていく。

かつしか人づくり宣言

問　職員の意識改革は進んでいるのか、区長の見解を伺う。

答　職員意識調査の結果や区民の声などから、着実に進んでいるが、すべての職員や職場に浸透するには時間がかかる。今後も、さらなる向上を目ざし、区民本位のサービスができる職員の育成に努めていく。